

平成 31 ・ 令和 元 年 度 自 己 評 価 表 ( 最 終 )

愛媛県立北宇和高等学校  
学校番号 ( 4 6 )

教育方針	教育基本法に基づき、人格の完成を目指し平和的な国家社会の有為な形成者として必要な資質を養い、国際的視野を持った心身ともに健康な国民を育成する。		重点目標	豊かな人間力～徳・知・体～を育む教育の実践 築き創り繋ぐ北宇和高校さらなる高みへ	
域 領	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学 習 指 導	家庭学習の充実	平常日における家庭学習時間を1日平均2時間以上確保させる。	C	1学期 98分 (昨年75分) 2学期 89分 (昨年107分)	・教科で適切な課題を出し、しっかりとした評価をすることで、学習意欲を高める。 ・自主生活ノートに「学習時間」を記録させる。 ・面接により、進路意識を向上と効果的な学習方法について指導する。
		各学期1回以上の個人面談を実施し、家庭学習の在り方等について指導する。	A	各学期とも、面接週間を設定し、担任による学習指導、進路指導を行った。	・来年度も今年度と同様に、各学期に面接週間を設ける。
	教科指導の充実	自己研修に努め、分かる授業・伸ばす授業を行う。	B	1学期末の授業評価ではほとんどの教科・科目で4以上の評価が出ている。年末の評価でも、⑤、⑥の項目のポイントは昨年よりも高くなっており(⑤授業は落ち着いた雰囲気で行われ、分かりやすい。⑥授業では、必要に応じて実験・観察・実習・話し合いなどが取り入れられている。)、工夫された授業がなされている。	・習熟度別授業や少人数授業を効果的に取り入れ、きめ細かい授業が行えるようにする。 ・授業参観研修を行い、指導方法や評価法の研究をする。 ・習熟度の低い生徒に対して、放課後などの時間を利用して、個別指導を行う。 ・ICT機器を効果的に活用し、生徒の学習意欲を高める。
		基礎学力の定着を図るために「学びのすすめ」を学年団と連携し、効果的に実施する。	C	「学びのすすめ」にはまじめに取り組んでいる。学力向上については、ポイントは上がってはいるものの、実感が乏しい。	・生徒の学習進度に合わせた教材を検討し、理解度を高めることで学習意欲を高める。
		年4回以上の職員研修・年4時間以上の授業研修を行い自己研修の推進と指導力の充実を図る。	B	校内研修会で、研修会参加報告を行い、研修内容を共有することができた。学校訪問研修、相互授業研修を通して、教科指導力の向上に努めた。	・相互授業研修、校内研究授業を継続し、充実した授業研修となるよう工夫する。 ・学校訪問研修等、研修の案内を確実にし、できる限り多くの研修に参加できるようにする。
	生 徒 指 導	基本的生活習慣の定着	明るいあいさつ100%、皆勤率65%を目指す。	C	毎月の身だしなみ指導や校門前でのあいさつ運動により、少しずつ意識が高まっている。 皆勤率は50.0%で、目標値の達成ができなかった。
交通安全意識を高め、交通事故0件、ヘルメット着用率100%を目指す。			B	交通事故が1件発生したが、毎月の生徒・教員・生徒交通委員による街頭指導、毎学期の車体検査、全校集会の啓発活動等により、交通安全意識が高まった。 自転車通学生のヘルメット着用は定着した。	・教員による街頭指導や生徒交通委員や生徒会による交通安全啓発運動をさらに充実させ、交通事故0件を目指す。 ・車体検査や施錠率調査を継続することで、安全に対する意識を高める。 ・「自分の命は自分で守る」ことができるよう交通ルール・マナーの徹底を図る。 ・通学時以外でもヘルメットを着用するよう、効果的な指導の継続を図る。

	学校生活の充実	生徒会行事満足度100%、部活動加入率95%、県総体出場60人以上を目指す。	A	満足度調査によると、鬼北歩行97.3%、体育祭99.7%、文化祭99.2%で、ほぼ満足している。部活動加入率は95.4%、県総体出場人数は61人で、目標を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や地域の実態に即した、学校行事の内容を検討する。</li> <li>中学校との合同練習会の継続や、校内での合同練習会（トレーニング、メンタル強化等）を実施し、部活動の活性化に向けた取組を実践する。</li> <li>統廃合を含めた部の精選を行い、各部の充実および強化を図る。</li> <li>教職員の共通理解を図るとともに、生徒が活動しやすい状況を構築し、能力を発揮できる部活動への入部率を高め、活性化を図る。</li> </ul>
進路指導	進学指導の充実	進学決定率100%を目指す。	B	進学決定率100%（国公立大学2名、私立大学17名、私立短期大学8名、専門学校32名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポート「北辰キャリア」を活用し、個に応じた指導を行う。</li> <li>「進路だより」、「進路の手引き」の内容を再検討して、進路学習に有効な資料となるように改善を図る。</li> <li>「ホームルーム活動」、「総合的な学習(探究)の時間」及び「学習合宿」等を活用して、進路意識の高揚を図る。</li> <li>進路資料室の資料の配置を改善して、より利用しやすい環境を作る。</li> <li>個別指導法の研究をして、一人一人の個性に応じた進路指導を推進する。</li> </ul>
	就職指導の充実	就職内定率100%を目指す。	A	就職内定率100%（県内就職者22名、県外就職者25名、一次試験での不合格者3名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポート「北辰キャリア」を活用し、個に応じた指導を行う。</li> <li>各学年に応じた望ましい勤労観と職業観を育み、自らの進路選択に必要な能力や態度を身に付けさせる。</li> <li>鬼北町役場と連携して、地元企業合同説明会を1・2年生対象に実施する。</li> <li>就職課外（3年生の1学期）の内容を充実させ、就職活動の基礎知識を身に付けさせる。</li> </ul>
その他	人権・同和教育の充実	人格を認め合い尊重し合う心と他者感覚を備え、思いやりのある生徒の育成を目指す。	C	委員会活動では識字学級や交流学習会などに意欲的に参加する生徒がおり、その領域での活動は活発だが、この活動がより学校全体に広がるような啓発を工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権委員会の生徒が、校外での活動で学んだ事を学校全体にどう広げていくか工夫する。</li> <li>人権について日常的に意識したり、考えたりできるような、情報提供等を工夫する。</li> </ul>
	教育相談の充実	他者感覚の視点に立った教育相談の展開と推進に取り組む。	C	校務系を利用した、問題を抱えた生徒の情報共有と確認のシステムの運用を始めている。より効果的な活用ができるように改善を進めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SLA及び保健室の機能を活用し、問題を抱えた生徒や保護者への適切な対応を行う。</li> <li>本年度から運用を始めた校務系での確認のシステムを使って、業務の効率化が進むように、その運用法を研究する。</li> </ul>
	安全・危機管理の充実	年間2回の防災避難訓練を通して、緊急時に的確な判断で自助・共助できる生徒の育成を目指す。	B	消防署や地域と連携して避難時の搬送訓練など実習体験を行い、生徒の安全意識の高揚と危機管理を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民と連携した避難のあり方を見直し、さらなる生徒の安全意識の高揚を図る。</li> </ul>
	地域と連携した学習の推進	小・中学校や地域との連携学習及び開放講座35回以上実施。学校・行政・地域との更なる連携の強化。	A	35回実施 高校生も交流学習を楽しみにしており、意欲的に取り組んでいた。また、小学生からのお礼状から、この連携学習の意義は高いものと感じた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の人数減少、および連携学習と地域交流を考え、具体的目標を「小・中学校との連携学習及び地域交流を35回以上実施」に変更する。</li> <li>生徒の指導力を高めるために、知識・技術の向上を図り、リハーサルの徹底を図る。</li> </ul>
	保護者や地域との情報交換の推進	P T A 総会出席率30%以上、保護者懇談会出席率100%、P T A 通信の毎月発行を目指す。	B	PTA総会出席率30%以上、保護者懇談会出席率100%、PTA通信の毎月発行の目標が達成できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA通信の月末発行を徹底し、近隣の中学校や地域に配布するなど、広報活動の充実を図る。</li> </ul>

\* 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。